

制作概要

少子化と初婚年齢の上昇と共に、自分らしさを表現する、人と違ったものが着たいという個人主義的なフォーマルウェアやウェディングドレスが台頭している。市場では高級感と安価なお手ごろ感のあるドレスの2極化が進んでいるものの顧客に対応した商品化の提案が重要なポイントになっている。縫製工場が殆ど中国や東南アジアの国々に移った日本の中でいかに生き残るかは他には出来ない日本の高い技術と創作力を発揮しなければならない。

作品は2005年9月12日フェスティバルホール（中之島）第73回NDK日本デザイン文化協会ファッションショー「Fantasy World～夢の冒険者たち～」の第3景フォーマルウェア部門に出品したイブニングドレスである。

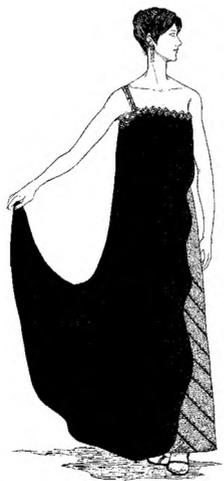
黒を基調にした夜会服のシリーズとして制作した。コンセプトは太陽が沈む「夕映え」をイメージしてデザインした。真っ赤に燃える太陽が西の空に沈む姿は寂しさと温かさを合わせもち、癒しを感じさせてくれる。家路に帰る喧騒の中で優雅なやさしさを持って生きたい。そのような想いで赤のぴったりと体に沿ったシフトドレスに黒のジョーゼットを重ね、その素材感を活かしてたっぷりドレープを入れ、やさしく揺れるエレガントな大人の女性を表現した。赤と黒のコントラスト、赤と黒の重なる色調、ラインストーンと黒のラインテープのシャープな配置などのテクニックにより夕映えの光と影を表現し、個性と高級感を考慮した。黒の魅力への研究課題はまた新たな創作意欲を自身に与えてくれている。

橘 喬子

「夕映え」

イブニングドレス

フェスティバルホール(大阪・中之島)



デザイン画



image「夕映え」
カラーコーディネーターのための配色入門
(日本色研事業/株)より引用

制作日程

- 1) 6月23日(木)ショーテーマ・演出説明会、モデル選定
- 2) 7月12日(金)デザイン画提出
- 3) 7月28日(木)モデル仮縫点検
- 4) 8月 3日(火)素材選択・購入
- 5) 8月16日(水)~9月8日(木)パターン修正、裁断、制作
- 6) 9月 9日(金)衣装合わせ、リハーサル
- 7) 9月11日(日)作品搬入
- 8) 9月12日(月)舞台リハーサル、ショー本番11時・14時2回公演

縫製のポイント

- 1) 赤のサテンのタイトなシフトロングドレスは前後バストからウエスト、ヒップラインまでダーツを入れ、体にフィットさせた。
- 2) 後明きにし、コンシールファスナーをつけ、裾は床上がり55cmのスリットを入れ、歩きやすくした。
- 3) 右脇ウエスト部位から左裾後ろスカートにかけて黒のラインテープとラインストーンを9本接着した。
- 4) 黒のジョーゼットは素材の持つ透け感と落ち感を生かして胸のデコルテに合わせてフレアーを入れた。また左脇は赤のドレスが見えるようカーブさせながらカットした。裾は巻きロックで仕上げた。
- 5) 右肩はラインストーンテープでストラップをつけた。左肩は透明ストラップをつけ、バランスを持たせた。
- 6) 胸のデコルテにはジルコニアのブレードを飾り、アクセントにした。



赤のロングドレス前トップス部分



左後トップス部分



前トップスブレード付き部分



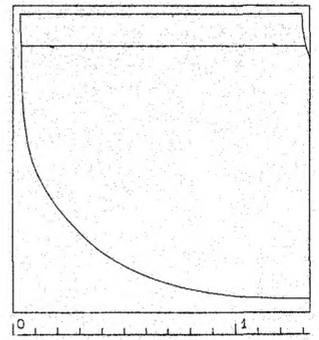
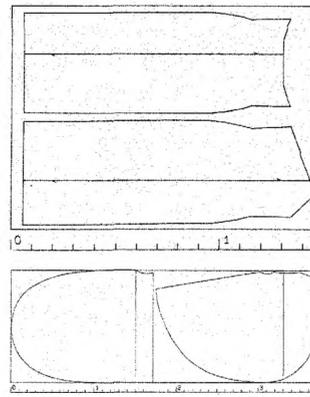
後トップスブレード付き部分



衣装合わせ風景A



衣装合わせ風景B



使用素材

サテン、ジョーゼット、ブレード、ラインテープ、ラインストーン
アクセサリ

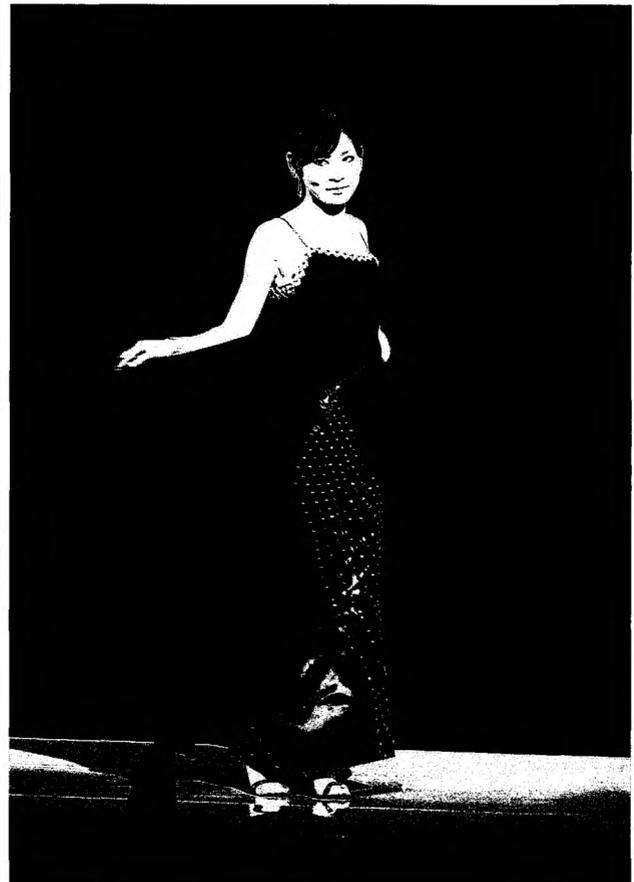
イヤリング、プレスレット

パターンメイキング

シーチングでタイトなロングドレスをモデルサイズに合わせてドレーピングでパターンを制作仮縫いした。その上のドレスも胸のデコルテに合わせてフレアーを入れながらドレーピングし、パターンをおこした。左脇が開き、ドレープが流れるようにそのバランスを工夫した。



舞台本番風景



舞台本番風景

